

安全データシート

【1 化学物質等及び会社情報】

製品名 : クール500B
 会社名 : クール・テック 株式会社
 住所 : 東京都狛江市東和泉2-16-30
 電話番号 : 03-5761-5047
 FAX番号 : 03-5761-5048
 推奨用途及び使用上の制限 : 水溶性腐食抑制剤
 作成年月日 : 2017年7月7日
 整理番号 : AI営技1-11-4

【2 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性	:	爆発物	分類対象外
	:	可燃性/引火性ガス	分類対象外
	:	エアゾール	分類対象外
	:	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	:	高压ガス	分類対象外
	:	引火性液体	分類できない
	:	可燃性固体	分類対象外
	:	自己反応性物質および混合物	分類できない
	:	自然発火性液体	分類対象外
	:	自然発火性固体	分類対象外
	:	自己発熱性物質および混合物	分類できない
	:	水反応可燃性物質および混合物	分類対象外
	:	酸化性液体	分類できない
	:	酸化性固体	分類対象外
	:	有機過酸化物	分類対象外
	:	金属腐食性物質	分類できない
健康有害性	:	急性毒性(経口)	分類できない
	:	急性毒性(経皮)	分類できない
	:	急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
	:	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	:	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない
	:	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	:	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	:	呼吸器感作性または皮膚感作性	分類できない
	:	生殖細胞変異原性	分類できない
	:	発がん性	分類できない
	:	生殖毒性	分類できない
	:	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	:	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	:	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性	:	水生環境有害性・短期間(急性)	分類できない
	:	水生環境有害性・長期間(慢性)	分類できない
	:	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示



- 注意喚起語 : 危険
- 危険有害性情報 : 飲み込むと有害のおそれ
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
- 注意書き : **【安全対策】**
他の容器に移し替えないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
【応急措置】 → **【4 応急措置】**の項目に記載
【保管】 → **【7 取扱い及び保管上の注意】**の項目に記載
【廃棄】 → **【13 廃棄上の注意】**の項目に記載

【3 組成及び成分情報】

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 成分及び成分情報 :

成分	含有量(%)	CAS No.	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
腐食抑制成分(複数)	10~20	(註)	(註)	既存
水	80~90	7732-18-5	-	-

(註) 弊社ノウハウに係わる事項のため非公開

【4 応急措置】

- 物質被害を防止するため流出したものを吸収すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。
皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用すること。

【5 火災時の措置】

- 消火剤 : 粉末消火剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂
- 使ってはならない消火剤 : 消火に棒状水を用いてはならない。
- 火災時の特定危険有害性 : 火災によって刺激性、腐食性または毒性のガスを発生するおそれ
があるので、消火作業の際には煙を吸入しないように注意する。
- 特有の消火方法 : 消火作業は、可能な限り風上から行う。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
周辺火災の場合に移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
- 消火を行う者の保護 : 状況に応じて保護具(呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、
眼鏡、マスク等)を着用し、当該製品の吸入や直接接触を避ける。

【6 漏洩時の措置】

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置

： 漏出した場所の周囲はロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
状況に応じて保護具(呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等)を着用し、当該製品の吸入や直接接触を避ける。風上から作業する。

環境に対する注意事項 : 利用可能な任意の手段により、流出物が配水管または水路から河川等の環境中に流出しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法・機材

： 少量の場合は、おがくず、土、砂、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
大量の場合には、土砂等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからスコップまたは吸引機等で空容器に回収する。

二次災害の防止策

： 消防隊に警告して、漏出箇所と当該製品の危険・有害性を伝える。

【7 取り扱い及び保管上の注意】

取り扱い

技術的対策

： 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

局所排気装置・全体換気 : 局所排気下、または全体換気の設備のある場所で取り扱う。

安全取り扱い注意事項

： 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

保管

適切な保管条件

： 施錠して保管すること。
直射日光を避け、換気のよい冷暗所で密栓して保管する。
子供の手の届かないところに保管する。

安全な容器包装材料

： 保管容器は購入した製品の容器を使用し、みだりに別の容器に入れ替えない。

管理濃度

： 設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない。

ACGIH : 設定されていない。

【8 暴露防止及び保護措置】

設備対策

： 蒸気の発生源を密閉する設備または局所排気装置を設ける。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具 : 必要に応じて保護マスクを着用する。

手の保護具 : 不浸透性の保護手袋を着用する。

眼の保護具 : 眼側面の遮断を備えた保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護衣 : 長袖作業着を着用する。

【9 物理的及び化学的性質】

外観	
物理的状態	: 微黄色透明液体
臭い	: 若干特異臭あり
pH	: 11(原液)
融点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
爆発限界	
下限	: データなし
上限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度(空気=1)	: データなし
比重	: 1.11 (25°C)
溶解性	
水	: 可溶
その他の溶媒	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
その他のデータ	: データなし
安定性	: 室温下では安定
危険有害反応可能性	: 通常取り扱いにおいては安定。

【10 安定性及び反応性】

避けるべき条件	: 直射日光を避ける。混触危険物との接触を避ける。
混触危険物質	: 酸化剤、強酸。
危険有害分解生成物	: 燃焼すると水素が発生する可能性がある。

【11 有害性情報】

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: 区分1の原料を%以上含有する為、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 区分1の原料を%以上含有する為、区分1とした。
呼吸器感作性または皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

【12 環境影響情報】

生態毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

【13 廃棄上の注意】

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、若しくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、産業廃棄物処理業者に危険性、
-------	--

汚染容器及び包装 : 有害性を充分告知の上、処理を委託する。
 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

【14 輸送上の注意】

国際規制

海洋汚染物質 : 非該当
 国連分類 : 8(Corrosives)
 国連番号 : 1760
 容器等級 : III

国内規制

陸上規制情報 : 非危険物
 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
 海洋汚染物質 : 非該当
 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
 国連分類 : 8(腐食性物質)
 国連番号 : 1760
 容器等級 : III

輸送の特定の安全対策及び条件

: 車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書きを交付する。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器に漏れや破損のないことを確かめた後、落下、転倒、損傷が生じないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

食料や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号 : 154

【15 適用法令】

化学物質管理促進法 : 非該当
 労働安全衛生法 : 非該当
 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 消防法 : 非該当
 化審法 : 非該当
 外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第1、外国為替令別表それぞれ16の項
 補完的輸出規制(キャッチオール規制)

【16 その他の情報】

参考文献 : 1) 原料のSDS

記載内容の問い合わせ先 : クール・テック株式会社
 東京都狛江市東和泉2-16-30
 電話番号 : 03-5761-5047 FAX番号 : 03-5761-5048

- * 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。また、この情報は新しい知見、試験等により改正されることがあります。
- * 注意事項は通常の取り扱いを対象としたものです。他の化学物質を混合したり、特別な取り扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を新たに講じた上で実施してください。
- * すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。